

小学校・中学校の適正規模等の基本的な考え方について

I 小学校・中学校の適正規模等の検討について

1 目的

平成 21 年度に策定した「**小中学校の適正規模等に関する基本方針**」は、策定後、約 15 年が経過し、その間に、学校を取り巻く環境は大きく変化していることから、令和 6 年度は、学校の適正規模等について、総合教育会議で議論を重ねながら、現在の状況に即した**基本的な考え方**をまとめていく。

令和 7 年度以降は、この基本的な考え方に基づき、具体的な方向性を検討していく。

2 検討スケジュール（予定）

R 6 年度	7/18	第 1 回総合教育会議で、会議の目的や本市の現状などを共有
	9/13	第 2 回総合教育会議で、基本的な考え方（中間案）を議論
	12 月	中間案について、パブリックコメントを実施
	1 月	第 3 回総合教育会議で、基本的な考え方（最終案）を議論
	2 月	「小学校・中学校の適正規模等の基本的な考え方」を策定

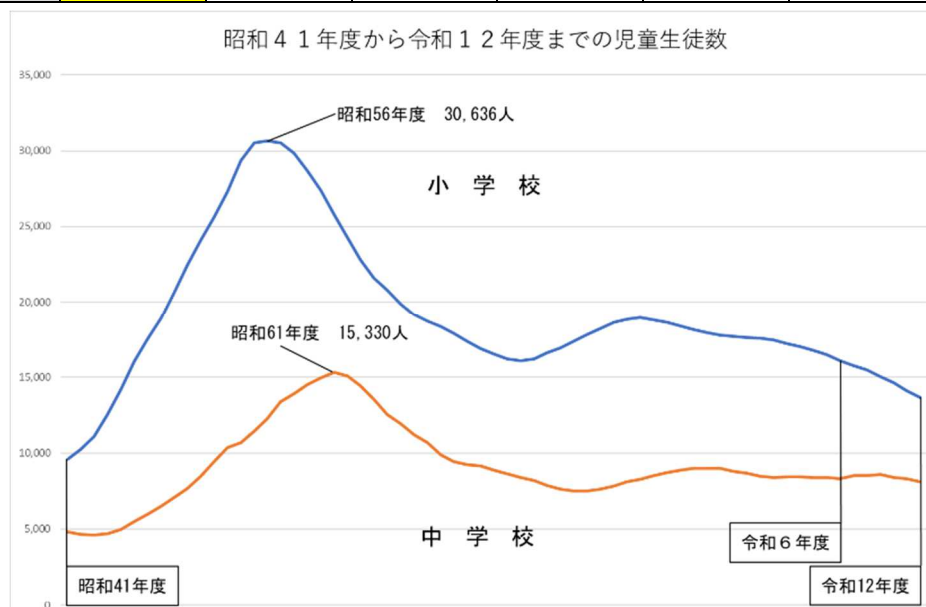
II 本市の現状について

令和 12 年度までは、現在の 0 歳から 5 歳までの年齢別人口に基づき推計することができる。全国的な少子化の進展に伴い、児童生徒数及びクラス数は、減少傾向にある。

1 児童生徒数の推計

（人）

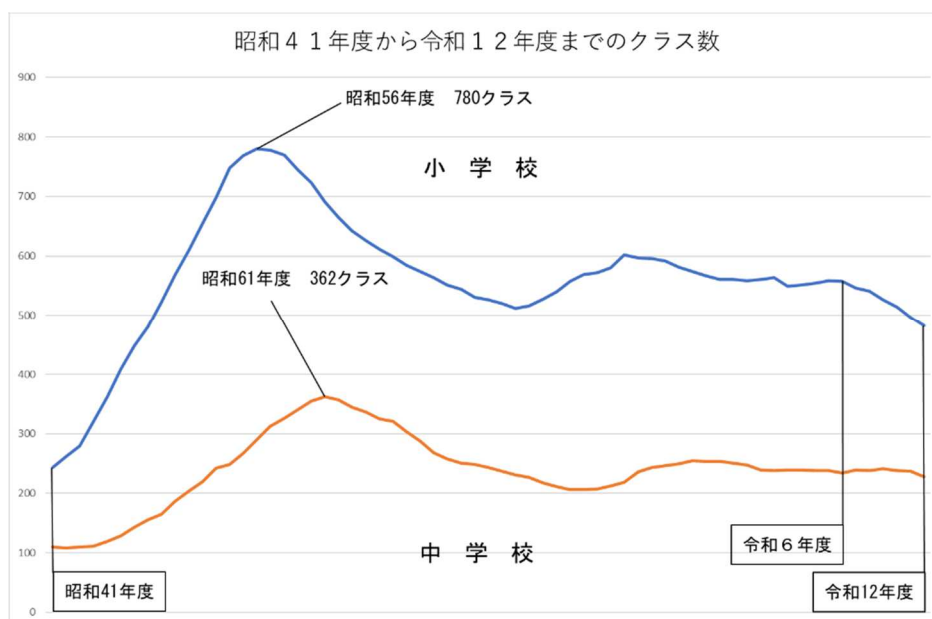
	R 6 年	R 7 年	R 8 年	R 9 年	R 10 年	R 11 年	R 12 年
小学校	16,084	15,748	15,464	15,040	14,614	14,098	13,660
中学校	8,303	8,530	8,517	8,602	8,392	8,307	8,105



2 クラス数の推計

(クラス)

	R 6 年	R 7 年	R 8 年	R 9 年	R10 年	R11 年	R12 年
小学校	558	546	541	527	514	497	482
中学校	234	239	238	241	238	237	228



3 学校規模の推計

平成 21 年度に策定した「小中学校の適正規模等に関する基本方針」における次の定義に基づくと、令和 12 年度の推計においては、小学校では、適正規模校が減り、過小規模校が増える。中学校では、新たに 1 校が過小規模校となる。

定義（小中とも同じ）

学級数	～ 6	7 ～11	12～24	25～30	31～
規模	過小規模	小規模	適正規模	大規模	過大規模

(校)

小学校	R 6 年	R12 年
過小	4	10
小	7	7
適正	23	18
大	2	1
過大	1	1

中学校	R 6 年	R12 年
過小	0	1
小	6	5
適正	8	8
大	0	0
過大	1	1

4 施設の老朽化

市公共施設個別施設計画では、施設を90年にわたり長期使用するため、建築後46～50年目に大規模改修を実施することとしている。多くの学校が、この時期を経過し、内装や排水管、電気設備などの劣化が進んでおり、引き続き計画的に大規模改修を実施する必要がある。

小学校	校数	うち、 大規模改修に 着手した校数
築 60～64	2	1
55～59	9	4
50～54	10	
45～49	8	
40～44	5	
35～39		
30～34		
25～29		
20～24	1	
15～19	1	
10～14		
5 ～ 9	1	
0 ～ 4		

中学校	校数	うち、 大規模改修に 着手した校数
築 60～64	3	3
55～59		
50～54	2	
45～49	6	
40～44	3	
35～39	1	

大規模改修に着手した学校

小学校：鳥居松、味美、篠木、
白山、勝川
中学校：東部、中部、西部

5 施設整備費の高騰

学校施設については、大規模改修や定期修繕、日常修繕を実施しているが、資材費や人件費が高騰傾向にあり、今後、ますますの維持管理費が必要になってくる。

6 学級編制の基準

春日井市は愛知県と同じ基準で運用している。1 学級の少人数化が進んでいる。大規模学校では、教室の不足も予想される。

R 5 年度	小 1	小 2	小 3	小 4	小 5	小 6	中 1	中 2	中 3
国	35 人	35 人	35 人	35 人	40 人	40 人	40 人	40 人	40 人
愛知県	35 人	35 人	35 人	35 人	35 人	40 人	35 人	40 人	40 人

[illegible]

Ⅲ 「小学校・中学校の適正規模等の基本的な考え方」の構成について

1 本市の現状（学校を取り巻く環境の変化）

- (1) 児童生徒数の減少
- (2) 学校施設の老朽化
- (3) 市の財政状況
- (4) 35 人学級の拡大
- (5) 教育のデジタル化
- (6) 不登校への対応
- (7) 多様性を尊重する教育

2 藤山台中学校区の3小学校の統合についての検証

- (1) 経緯
- (2) 検証

3 他自治体での取組

- (1) 愛知県県内
- (2) 愛知県県外

4 適正規模や適正配置の基本的な考え方

- (1) 学校の適正規模について
 - ア 課題
 - イ 望ましい学校規模の考え方
- (2) 学校の適正配置について
 - ア 課題
 - イ 望ましい通学距離や通学区域の考え方

5 取組スケジュール

6 その他留意事項